

3月26日 名古屋港管理組合議会 3月定例会 江上博之議員

# 飛島ふ頭 南側岸壁 3つ目の16m大水深バースに380億円 欧米基幹航路は10年で1/3に減便

名古屋港管理組合 3月議会が 3月26日～30日に行われ、江上博之議員が飛島ふ頭南側コンテナターミナルの大水深バース建設について質問を行いました。

## 第3バースの背後用地を25億円で購入

名古屋港管理組合は、飛島ふ頭南側コンテナターミナルに水深16mの第3バースを増設するために、岸壁の背後用地として民間事業者の土地を25億2千万円で取得する予算を計上しました。

江上議員は「新型コロナウイルスが世界で感染をを広げ、経済への影響も大変な中で、世界の供給の鎖＝グローバルサプライチェーンが止まり、輸出入のあり方が変わっていく転機になるのではないかと指摘し、大水深バース増設の必要性についてただしました。

## 整備費380億円。名古屋港負担は140億円

第3バースの整備費は「既存2バース750mの実績から、第3バース400mで整備費380億円、名港の負担額は140億円を想定」という説明がありました。

江上議員は「380億円もの費用で整備する必要があるのか。水深16mでなければ利用できない船舶の寄港状況はどうか」とただしました。

国土交通省港湾局の「国際コンテナ戦略港湾政策について」には、欧米基幹航路寄港便数について「伊勢湾では、2010年に14便であったものが2019年には6便に減り、我が国に寄港する基幹航路の便数は減少」と示されています（下図）。

管理組合は「2010年の名古屋港への寄港便数は、週

当たり北米航路10便、欧州航路4便の合計14便。2020年3月現在、週当たり北米航路3便、北米・欧州航路2便の合計5便」と最新の実態を明らかにしました。

## 水深16m岸壁2つと水深15m岸壁4つで可能

江上議員は「すすむ少子高齢化やリニアの影響などからも名古屋港の輸出入は減少方向ではないか」と指摘し、「現在、水深16m岸壁は2か所。整備予定も含めると水深15m岸壁は4か所ある。船舶の貨物量はいつも満載でくるわけではない。少子高齢化で財政収入は減る。こんな状況で、この事業に投資する余裕があるのか」とただしました。

専任副管理者は「2019年のコンテナ取扱個数は2010年と比べ約33%増加している。2バース体制ではピーク時にコンテナの搬出・搬入や蔵置・積替え等の作業がひっ迫する。コンテナ航路の再編で、基幹航路の寄港地に選ばれるためには、船会社の運航スケジュールでの柔軟かつ円滑な寄港を可能とすることが重要になり、連続3バースは必要」と答えました。

## 地球温暖化対策、災害対策などを

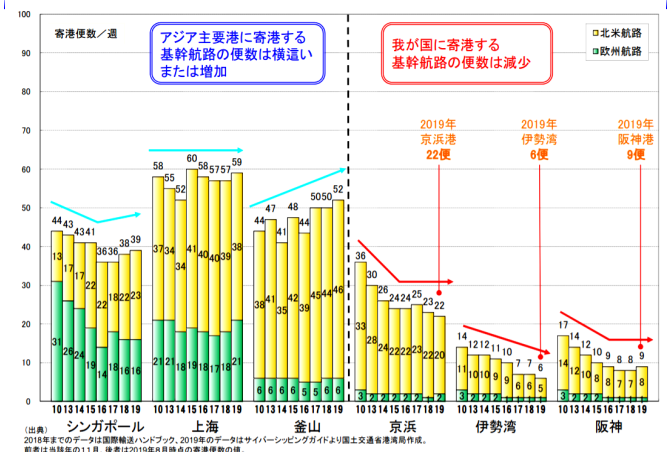
江上議員は「欧米航路の便数が三分の一近くに減っている理由はなぜか。東京・京浜港や、関西・阪神港も減っている。この分析が必要。新たな岸壁整備によって維持しゅんせつの3倍の土砂が発生して環境を悪化させることも問題。見直しが必要」と指摘しました。

2020年3月 名古屋港管理組合議会 議案一覧と結果

議案名	名古屋市会選出			県会選出			結果		
	共	自	民	減	公	自		民	公
2020年度名古屋港管理組合一般会計予算（385億円。前年比6.6%増。大水深バース整備など）	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
2020年度名古屋港管理組合基金特別会計予算など3予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2019年度名古屋港管理組合一般会計補正予算など2補正件	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
給与条例など3条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
損害賠償の額の決定及び和解（2018年12月の飛島ふ頭沖での転覆事故で水没した撮影機材568万円余の補償）	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2018年度名古屋港管理組合一般会計決算	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
2018年度名古屋港管理組合基金特別会計決算など3決算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○＝賛成 ●＝反対 / 共：日本共産党 自：自民党 民：民主党 減：減税日本ナゴヤ 公：公明党

日本とアジアの欧米基幹航路寄港便数の比較  
(国交省・国際コンテナ戦略港湾政策について・2019年11月8日)



(出典) 2018年までのデータは国際輸送ハンドブック、2019年のデータはサイバーパンクガイドによる国土交通省港湾局作成。前掲は当該年の11月、後者は2019年8月時点の寄港便数の値。